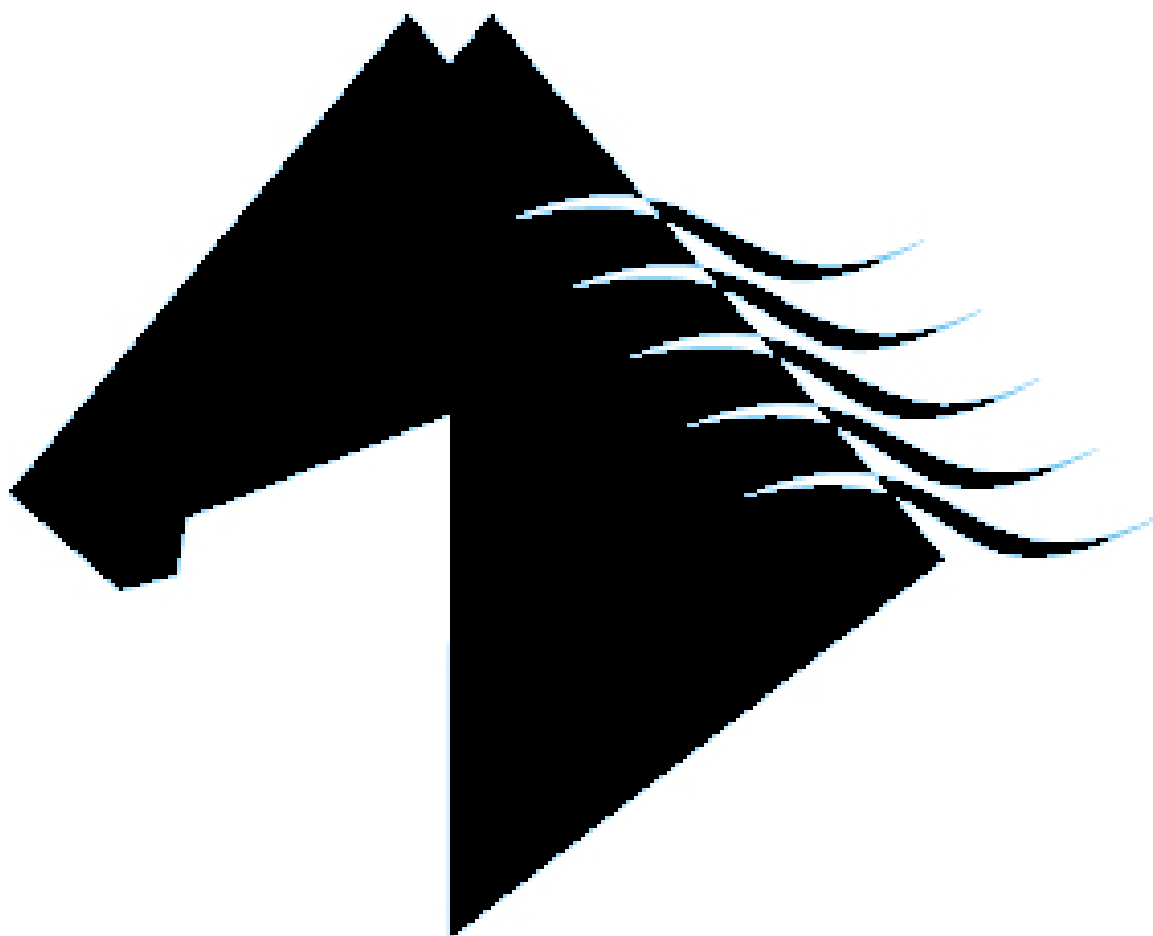


令和3年議会報告会

～おでんせ会議～



岩手山・チャグチャグ馬コの里・滝の沢

次 第

開 会

1 議長挨拶

2 議会報告

I) 議会の紹介と報告

①委員会構成紹介及び令和3年度予算審査

II) 議会改革について

①ICT化に向けた取り組み

III) 常任委員会所管事務調査

①総務教育常任委員会

「若者による課題掘り起こし及び魅力発見の取組について」

②環境厚生常任委員会

「若者定住に向けた子育て環境（保育）について」

③産業建設常任委員会

「若者定住のための生活基盤と産業基盤の整備について」

閉 会

議長挨拶



滝沢市議会議長

ひなた せいいち
日向 清一

「開かれた議会」

「市民とともに歩む議会」

「行動する議会」

議会の紹介と報告

①委員会構成紹介 及び

令和3年度予算審査

総務教育常任委員会

(予算決算常任委員会 第1 専門委員会)



あいほら たかひこ
相原 孝彦



やなぎばし こうこ
柳橋 好子



かんの ふくお
菅野 福雄



なかた たかゆき
仲田 孝行



まつむら はじめ
松村 一



つのかけ くにひこ
角掛 邦彦

総務教育常任委員会の所管部署 (第1専門委員会)

○市民環境部

- ・地域づくり推進課（まちづくり、交流拠点複合施設管理など）
- ・防災防犯課（消防、防災、防犯交通、少年補導員など）
- ・市民課（住民票、戸籍、印鑑登録、外国人登録、臨時運行許可など）

○企画総務部

- ・総務課（人事、福利厚生、情報公開、法規、損害賠償など）
- ・企画政策課（総合計画、広報、統計、行政改革、秘書など）
- ・情報システム課（IT推進、庁内情報統合・分析など）
- ・財務課（予算編成、財産管理、庁舎管理、契約・検査など）
- ・税務課（市税の賦課、申告、国保税の賦課、家屋調査など）
- ・収納課（市税、国保税等の徴収・収納管理など）

○教育委員会

○監査委員

○固定資産評価委員会

○選挙管理委員会

○他の常任委員会に属さない事務

令和3年度予算審査（総務教育分野）

懸案事項

1. 若者定住に関する「つながり」の構築について
2. 地域づくりについて
3. 安全な登下校（防犯灯）について

令和3年度予算審査（総務教育分野）

1. 若者定住に関する「つながり」の構築について

<審査の視点>

- ① 若者定住への具体的施策
- ② 小中高大と市の相互の関わり
- ③ 子育て世代や社会人への生涯教育の機会づくり

<審査の評価>

- ① 若者からの意見を市の事業にどのように結びつけて具現化するかが大事である。
- ② 高校、大学との連携はできているが、小中学校との連携も必要である。
- ③ 子育て世代が参加しやすいような工夫が求められる。

令和3年度予算審査（総務教育分野）

2. 地域づくりについて

<審査の視点>

- ① 役員等のなり手不足の解消、コロナ禍における自治会活動の在り方
- ② 集会施設の新築・改修

<審査の評価>

- ① なり手不足は研修会を開いても解消できない。自治会活動は地元任せにせず、市がガイドラインを作成し対応するべき。
- ② 公民館等、集会施設がない自治会への対応は早急に考えるべきである。空き家の活用は市が仲介して進めるべき。

令和3年度予算審査（総務教育分野）

3. 安全な登下校（防犯灯）について

< 審査の視点 >

- ① 防犯灯の増設、老朽化した木柱の交換
- ② スクールガードへの支援

< 審査の評価 >

- ① 通学路も含めた防犯灯設置充実の重要性は認識している。現地調査を行い、要望にかなったものにしていく必要がある。
- ② スクールガードはボランティアだからとはいえ、せめて冬期間の支援を進めるべき。

環境厚生常任委員会

(予算決算常任委員会 第2専門委員会)



さいとう あきら
齋藤 明



ふじわら おさむ
藤原 治



えんどう ひでき
遠藤 秀鬼



かわぐち きよゆき
川口 清之



いのうえ じん
井上 仁



やまや ひとし
山谷 仁

環境厚生常任委員会の所管部署 (第2専門委員会)

○健康福祉部

- ・ 地域福祉課 (社会福祉、障がい福祉、民生児童委員など)
- ・ 生活福祉課 (生活困窮者自立支援制度など)
- ・ 児童福祉課 (保育所、幼稚園、児童手当、要保護対策など)
- ・ 高齢者支援課 (介護保険、高齢者福祉など)
- ・ 地域包括支援センター (介護予防、総合相談、権利擁護など)
- ・ 健康推進課 (成人保健、母子保健、保健予防、検診、食育推進など)
- ・ 健康づくり政策課 (健康づくりの総合調整など)
- ・ 保険年金課 (国民健康保険、医療給付、国民年金など)

○市民環境部

- ・ 環境課 (環境衛生、墓地、公害、一般廃棄物計画など)

令和3年度予算審査（環境厚生分野）

懸案事項

- ①健康づくり
- ②子育て支援
- ③ごみ処理
- ④高齢者支援

令和3年度予算審査（環境厚生分野）

懸案事項 ①健康づくり

・審査の視点Ⅰ「健康づくりについて」

- (1) 滝沢市健康ダンスの普及
- (2) コロナ禍における留意点等

⇒評価Ⅰ

- (1) 保育園・小学校等と連携した子育て世代への普及に期待する。
- (2) 感染予防と健康活動の両立に期待する。

・審査の視点Ⅱ「各種検診・予防について」

- (1) 各種検診の受診率向上への取り組み
- (2) 補助対象者の拡充

⇒評価Ⅱ

検診機会の土日拡充と予防接種の対象者拡大に一定の評価

令和3年度予算審査（環境厚生分野）

懸案事項 ②子育て支援

・ 審査の視点Ⅰ「保育について」

（１）保育の待機児童の解消

（２）保育士確保への支援

⇒評価Ⅰ

（１）解消はまだ見通せない。新たな対策「小規模保育事業」の進展に期待する。

（２）支援額は増えているがまだ不十分である。

・ 審査の視点Ⅱ「放課後児童クラブについて」

（１）放課後児童クラブの待機児童の解消

（２）放課後児童クラブでのコロナ対策

⇒評価Ⅱ

（１）解消は進んでいる。

（２）コロナ対策は実施されている。

令和3年度予算審査（環境厚生分野）

懸案事項 ③ごみ処理

・審査の視点Ⅰ「ごみ処理広域化の進展について」

- （１）進展状況と今後のスケジュール
- （２）最終処分場の計画

⇒評価Ⅰ

- （１）３月２４日の協議会の結果を注視していく。
- （２）進展がなく、引き続き注視が必要である。

令和3年度予算審査（環境厚生分野）

懸案事項 ④高齢者支援

・ 審査の視点Ⅰ 「高齢者支援について」

- （１）交通の確保（生きがいづくり）
- （２）老人クラブへの支援
- （３）セーフティネットに繋がる各種相談等

⇒評価Ⅰ

- （１）福祉バスの運行はまだまだ改善が必要である。
- （２）（３）老人クラブへの支援と高齢者の相談体制は
一定の評価

・ 審査の視点Ⅱ 「地域包括支援センターについて」

新たな「北部センター」設置

⇒評価Ⅱ

「北部センター」の設置による効果は今後注視していく。

産業建設常任委員会

(予算決算常任委員会 第3 専門委員会)



いなりば ゆたか
稲荷場 裕



ひなた ゆうこ
日向 裕子



おくつ かずとし
奥津 一俊



さとう すみこ
佐藤 澄子



おだしま きよみ
小田島 清美



おさない しんぺい
長内 信平

産業建設常任委員会の所管部署 (第3専門委員会)

○経済産業部

- ・観光物産課（観光振興、物産振興、ふるさと納税など）
- ・企業振興課（企業誘致活動、定住促進、商工振興など）
- ・農林課（農産、畜産、林業、農商工連携など）

○都市整備部

- ・都市政策課（都市計画、公園整備管理、公共交通対策など）
- ・道路課（道路管理、交通安全施設整備、除雪など）
- ・河川課（河川管理、雨水整備など）

○上下水道部

- ・水道総務課（水道庶務、料金業務、給水業務など）
- ・水道整備課（浄水場、水道施設の建設・維持管理など）
- ・下水道課（汚水処理（公共下水道など））

○農業委員会

（農業委員会事務）

令和3年度予算審査（産業建設分野）

懸案事項

- ①空き家対策
- ②公園維持管理
- ③企業誘致
- ④新規就農対策
- ⑤都市計画

令和3年度予算審査（産業建設分野）

懸案事項①空き家対策

- 審査の視点Ⅰ

空き家バンクの登録記載事項の充実度向上方策

⇒評価Ⅰ

空き家所有者と利用希望者とのマッチングを図るため、的確な調査方法を模索する必要がある。

- 審査の視点Ⅱ

特定空き家の措置方法

⇒評価Ⅱ

措置の手順、方法等が明確化された対策計画であることが重要である。

令和3年度予算審査（産業建設分野）

懸案事項②公園維持管理

- ・ 審査の視点Ⅰ

利用者に対し、安心安全を提供するための公園
維持管理方法

⇒ 評価Ⅰ

自治会との協働による維持管理を安全に的確に
履行するため、管理基準や規格値を設定するこ
とが必要である。

令和3年度予算審査（産業建設分野）

懸案事項③企業誘致

- 審査の視点Ⅰ

若者定住に繋げる企業誘致の促進

⇒ 評価Ⅰ

IT企業の拠点化のためには都市計画との連動が不可欠。

- 審査の視点Ⅱ

イノベーションパーク付近の産業用地の拡大

⇒ 評価Ⅱ

市の明確なビジョンを構築することが急務。

令和3年度予算審査（産業建設分野）

懸案事項④新規就農対策

- ・ 審査の視点Ⅰ
営農指導の推進施策

⇒ 評価Ⅰ

営農指導により、就農の定着が図られている。

- ・ 審査の視点Ⅱ
新規就農者の経営安定と定着の推進

⇒ 評価Ⅱ

事業に対する就農希望者への情報提供を充実させ、情報共有を図る必要がある。

令和3年度予算審査（産業建設分野）

懸案事項⑤都市計画

- ・ 審査の視点Ⅰ

若者の雇用や活力を生み出すためのまちづくり
(住商工の共存)の推進

⇒ 評価Ⅰ

若者定住を促進させるため、住商工の健全な姿
の共存を具現化させる滝沢市マスタープランを
早急に見直す必要がある。

その他

○議会運営委員会

- ・ 議会の運営に関する事項及び議長の諮問に関する事項について

○予算決算常任委員会

- ・ 一般会計、特別会計及び企業会計の予算、決算等に関する事務

○広聴常任委員会

- ・ 広聴活動に関する事務

○広報常任委員会

- ・ 議会広報誌及びホームページの編集に関する事務

○議会改革推進会議

- ・ 議会改革の推進に関する事項について

○特別委員会

- ・ 必要がある場合に議決により設置

議会ICT化に関するアンケート結果（回答のまとめ）

□調査期間：令和3年2月4日（木）～2月15日（月）

□対象者数：44名（令和2年11月に予定していた議会報告会に参加申込のあった自治会の方々）

□回答者数：20名（回答率45.4%）

◆ICT化は、現代社会において取り組まなければならない事は理解出来ます。システムについては良くわかりませんが、情報管理について相当の注意が必要になってくるのではと思います。運用していけば効率が良くなりよろしいのではないのでしょうか。

◆議会ICT化については、ペーパーレス化、コスト削減等様々な面で効率化が図られることが期待されます。速やかにタブレット端末の導入を図るべきものと考えます。但し、タブレット端末の管理運用に当たっては、議会内部に止まらず、外部（第三者）の意見を取り入れながら、実用化を図るべきものと考えます。

◆有効に活用してもらえれば、良い事だと思います。

【議会からのコメント】

タブレット端末の運用にあたっては、市当局の法規担当課や情報システム担当課、民間事業者や先行して導入している他市議会などからも意見を聞き、参考にしながら「タブレット端末機貸与及び運用規程」を定め、管理の仕方或使用範囲、遵守事項等について取り決めました。

◆議会改革としてのICT化は必要不可欠であると思われます。市民の意見を積極的に取り入れる環境を充実するためにも、ICT化を広く市民に時間をかけて丁寧に馴染むよう、対応のノウハウ等々を含め理解を促し、説明することが望ましいと思います。賛成・反対、○か×か、でばかり判断することなく、その中間の意見、考えにも耳を傾けていただきたい。

◆当自治会としましては、議会ICT化賛成します。但し、そのことよりも各自治会から様々な地域課題の解決に向けての色々な意見、要望の実現に向けての議会活動、行政運営に期待したい。「金が無ければ、知恵を出せ」我が地域はそうやって今まで生きて来ました。

◆滝沢市議会活動の活性化への取り組みご苦労様です。議会のICT化も時代の流れであり、コロナ禍、災害時に於ける議会開催手段の複雑化は重要と考えます。貴重な財源の中での導入と考えますので、議案資料等の印刷配布とタブレットでの確認が重複しないよう、原則タブレット確認のみとし、コスト削減に努めていただきたい。また、先進導入議会での事例などを参考活用するとともに、導入後はテスト会議を経て軽易な委員会・会議、状況によって議会報告会などオンライン開催できるよう努めていただきたいと思います。

【議会からのコメント】

議会内部の会議（本会議や委員会等）だけではなく、日頃の議員活動や地域での集会、議会報告会や市民懇談会などにも活用しながら、市民の皆様には、随時機会を捉えて、その活用状況や運用状況などもご報告したいと思えます。また、災害発生時や感染症等拡大時における議会と地域をつなぐ連絡手段や情報共有ツールとしてのタブレット端末の活用についても、今後検討してまいります。

- ◆ (1) 一般公開できる情報（クラウドデータ）は、市民もWeb閲覧できるようにしてほしい。
⇒市当局とも協議の上、今後検討します。
- (2) ペーパーレス化が実際に実現できているかどうか、用紙代、印刷代などの経年推移を報告してほしい。
⇒議会報告会や市民懇談会の機会を捉えて、ご報告したいと思います。
- (3) ライフサイクルコストのグラフを参照すると、5年ごとに機器の入れ替えをするようだが、契約は購入かリースか知りたい。
⇒購入となります。
- (4) セキュリティ上、端末認証は二要素認証や生体認証などの仕組みを使うのが明らかにしてほしい。
⇒二要素認証を予定しています。
- (5) MDM（モバイル端末管理）による盗難、紛失による情報漏えいを回避する仕組みは導入するのか。
⇒タブレット端末で閲覧する資料等はすべて公開情報だけとなります。
- (6) 端末の故障、紛失、盗難などのインシデントが発生した場合の保証はどのようになっているのか。
⇒機器の故障の場合は、メーカー保証期間内での代替機との交換となります。それ以外は、基本的に議員個人の負担となります。
- (7) 端末の紛失、落下破損、水没など使用者に責任がある場合、費用負担は誰が行うのか。
⇒議員個人の負担となります。
- (8) オンライン会議が可能となっているが、実際に開催するのか。また市民が傍聴できる仕組みも実現してほしい。
⇒今年度中に会議規則等も見直し、本会議を除く委員会、全員協議会等がオンラインで開催できるように準備を進めます。
- (9) 新型コロナウイルス感染症対策などにより、様々な会合が中止となっているが、自治会単位でオンライン会議ができる設備を導入してほしい。
⇒市当局にいただいたご意見の内容を伝えました。

- ◆ (1) ICT化導入、大変良い事だと思います。

(2) 令和5年でコストが逆転していますが、レンタルか購入か不明です。7月より研修が始まって、全員9月からスタートのようですが、しばらくは同時並行で従来通りペーパー配布も必要かもしれません。全員早く慣れて頂き、ペーパーレス化を進めて頂きたいと思います。時代の流れですから頑張ってください。

【議会からのコメント】

タブレット端末は購入となります（議員分20台、事務局分5台）。納品後、7月から8月にかけて機器操作の習熟のための研修会、議場や委員会室等での模擬会議を行いながら、9月会議より本格運用を開始したいと思います。なお、基本的にはすべての会議において、電子データの閲覧によるペーパーレス会議を予定しておりますが、予算決算常任委員会等、前年度の資料と比較しながら質疑を行う会議では、ペーパーとの併用も検討しております。

- ◆議会ICT化に対する意見は下記のとおりです。

- 1 ICT化については、貴職の意見のとおりであり賛成です。
- 2 議会事務局も議会の効率化が図られると思いますので、事務局の負担が増すことのないよう、議員の方々も配慮すべきと思います。
- 3 ホームページを拝見しておりますが、これからも分かりやすく議会活動状況を伝えて下さるようお願いいたします。皆様ご苦労様です。

◆市民のための議会構築すべく不断の努力を！！

効率的で迅速な議会運営や議会の活性化、危機管理体制の強化等、さらなる議会の改革強化推進を図り、より市民に信頼され機能する議会となるよう願っております。その有効手段のひとつとして議会におけるICT技術の積極的活用を推進し、タブレット端末使用の会議システムを導入するなどペーパーレス化を進めてもらいたい。市民と議会との距離を縮め、より市民に開かれた議会、実情に合った形でICT化を有効に活用して頂きたいと思っております。市民への情報提供など日常の議員活動にも大いに活用いただき、質の向上と開かれた議会実現に向けて邁進することを願ってやみません。市民に開かれた議会、分かりやすく親しまれる議会を目指し、市政及び議会への関心を高めてもらうことを目的に定例会本会議のインターネット中継の実施（特に一般質問、施政方針等）に向けてご検討をお願いします。

【議会からのコメント】

議員個人の活動においてもタブレット端末を積極的に活用しながら、市民の皆様への説明や情報提供に努めてまいります。また、インターネット中継については、現在本会議と予算決算常任委員会の際に行っておりますので、ぜひご覧になっていただければと思います（市のホームページから視聴できます）。

◆私への意見聴取ありがとうございます。タブレット端末等導入は急いだ方が良いでしょう。ICT化は様々な方面から今後取り組んでいかれると思いますが、コロナ禍にある現在、少なくともオンライン会議などは進めていった方が良いでしょう。全国レベルの会議は既に各地から人が集まるのを避けるために、Web会議が常識です。市内ですぐ集まれるので、かえって進まないのかもしれませんがね。タブレット端末及び会議システムの早期導入を希望します。

◆議会ICT化の推進は、効率的で迅速な議会運営、議会の活性化、危機管理体制の強化など、市民に信頼され機能する議会となる有効手段のひとつと考えます。なお、タブレット端末導入による効果をどうやって市民の皆さんに還元するかですが、今まで以上に議会情報を分かりやすく市民に公開するとともに、市民の意見を積極的に取り入れる環境の充実につなげていただきたいです（市民からの相談、陳情、請願の対応など）。

◆議会運営の効率化を高める為にも、早急にICT化進めるべきである。

◆いまいち理解出来ませんが、特に意見はございません。

◆ICT化による人件費、労働荷重の増が抑えられることが本当に可能であること、ICT化を維持するための労働負担が軽減されるものであること、以上が可能であれば進めることに賛同いたします。

◆タブレット端末の導入効果のメリットが多いので、導入を進めていただきたい。今後は、自治会への導入も考えていただきたい。

【議会からのコメント】

市当局にいただいたご意見の内容を伝えました。

◆タブレット導入については賛成です。常にお忙しい議員の方におかれましては、是非活用すべきだと思います。特に現在のコロナ禍においては（これからも何があるかわからない）。また、災害時には動画で現場確認（被害状況）でき、今の時代メリットは多有りと思います。ペーパーレスになれば、資料、スケジュール等もタブレットひとつで事が済むなら。また、これからはICT化により、議会→自治会→市民の声を拾って頂き、良い街作りに活用頂く事を願います。

◆タブレット導入による負の部分は良く分かりませんが、導入により議員や事務局の省力化、効率UP、コストダウンは良くわかり賛成をしております。市民には分かりやすく、議会の活動や意見が良くわかるように開示することが必要と思われれます。議会と市民を近付けるパーツとしても活用して戴きたい。

◆時間のない中、また、会議にも参加していない中で意見を述べる事失礼します。今後の議会運営を効果的に実施する上で必要であると思っておりますので、是非実施して、市民にわかり易い情報を瞬時に提供できるように、また、市民から望まれた情報の提供があった場合は、情報共有できるようなシステムの構築を望みます（個人情報のため公開できない等とないように・・・?）。導入したが使えない、使わないシステム機能のない機種を・・・? 操作になれた議員又は不慣れな議員がないように、お互いに切磋琢磨しながら研鑽して下さい。市民からかけ離れた、場当たりの導入だけはやらないでもらいたい。市民に生かす視点での導入を望みます。滝沢市民の福祉向上のため、更なる頑張りに期待します。

【議会からのコメント】

タブレット端末を市民の皆様と議員及び議会をつなぐ有効な機器として大いに活用してまいりたいと思っております。また、地域でのこういった場面において使用することが効果的か、検証を重ねながら引き続き調査・研究してまいります。また、機器やアプリの操作、議会内外における活用について、議員間で差異が生じる事の無いよう、本格運用の前に研修会等を開催するほか、議員個々においても習熟に努めることといたします。

◆議会ICT化がもたらす効果としては、議会内情報の一元化及び迅速化、議会及び議員活動の積極的情報発信、議会の合理化及び効率化等、非常に多くのメリットが想定されると思っております。今後、導入にあたっては、当然検討されることとは思いますが、各種機能の仕様、アプリケーションの選定、運用規定、ICT化のデメリット等について、十分な検討をしていただきたいと思います。特に運用規定については、議会から外部への持ち出し禁止、私的利用の禁止、セキュリティ対策強化については、規定の中で十分な対策を講じて頂きたいと思っております。

【議会からのコメント】

タブレット端末及び会議システム（アプリ）の選定にあたっては、複数の業者からデモンストレーションなどを受けながら、操作性や特徴などについて比較検討を行うとともに、先行導入している県内他市議会などからも聞き取り調査を行い、規程等も策定しました。また、タブレット端末については、「いつでも、どこでも」常時各種資料等の閲覧ができることがメリットとしてありますので、外部への持ち出し（自宅や地域、視察先等での使用）も可としているものです。なお、今回タブレット端末で閲覧できる資料は、すべて公開情報のみとすることとしています。

所管事務調査報告

総務教育常任委員会

「若者による課題掘り起こし及び 魅力発見の取組について」



報告書QRコード
(市議会HP)

～たきざわ幸福実感アンケート報告書（R1年度）より～

- 多くのふれあいの機会があり、人間関係が良好であると感じている人の割合は経年比較では再度上昇傾向にあるものの、そう感じていない人の割合を常に下回っている状況
- 本市に愛着がある人の割合は、ゆるやかな減少傾向



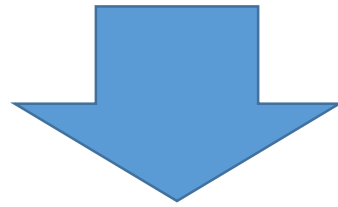
**○地域・人とのつながりを魅力とした取組
（若者による課題掘り起こし）**

**○滝沢市に愛着を持てるような取組
（魅力発見）**

は一層強化する必要があるため、調査研究を行った

若者自身が

課題を掘り起こし、魅力を発見すること



○人とのつながり

○滝沢への愛着

○滝沢に住みたい、戻って暮らしたい
という気持ち

<若者による課題掘り起こしの取組>

- 多忙な若者が地域づくり活動に参加しやすい取り組みが必要
- 教育振興運動と地域づくり活動の連動性を持ちながら、学校・PTA・自治会・事業所・団体等が相互に連携し、対話による課題の掘り起こし、共有、解決策まで見出すことが今後求められる。そのためには、庁内の連動と連携が必要

<若者による魅力発見の取組①>

- 学生に定住につながる意見を求めていくことも重要
- ツアーの継続や、新たな企画、伝統文化を観る機会や参加する機会を増やすことが必要
- 市内の遺跡や地域の由来を知ってもらうことなども新たな魅力発見につながる

<若者による魅力発見の取組②>

- ・ 伝統文化の伝承と保存も重要
- ・ 滝沢市埋蔵文化財センター…多くの市民に知ってもらおう工夫



<若者による魅力発見の取組③>

- 民具保管庫…展示の工夫、民具の劣化防止
- 魅力の発見に止まらず、発信も重要
- 他県の若者に対し、滝沢の情報や自然の豊かさをSNS等で発信することにより、UターンやIターンにもつながる
- 「滝沢ふるさと会」へ若い人にも参加してもらおうための工夫、会員による本市の魅力の発信等が必要

- 市職員が本市を十分に知っているか、愛着を持っているかなどが問われる。
- 横断的な部署「若者定住課（仮称）」を新たに設置し、若者定住に向け総合的な計画策定を早急に進めるべき

所管事務調査報告

環境厚生常任委員会

「若者定住に向けた子育て環境 (保育) について」

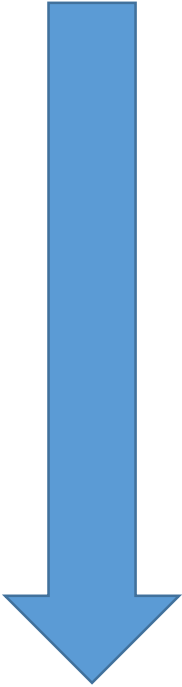


報告書QRコード
(市議会HP)

「若者定住に向けた子育て環境（保育）について」

○滝沢市総合計画後期基本計画

「若者定住」 「健康づくり」

- 
- ・子育て世代の定住には、安心して子どもを預けられる環境が必要
 - ・しかし、保育施設では近年、保育士の数が不足し、受け入れる児童数を増やせない事情を抱えている。

《保育士不足が課題》

○保育士確保のための支援が必要

「若者定住に向けた子育て環境（保育）について」

○調査手法

1. 担当課の事務調査

健康福祉部児童福祉課

2. 保育施設運営法人からの意見聴取

滝沢市保育協会、大釜学園、撫子学園、鶴山記念会

3. 盛岡大学からの意見聴取

文学部児童教育学科、短期大学部幼児教育科

4. 先進地への行政視察

盛岡市

「若者定住に向けた子育て環境（保育）について」

○浮き彫りとなった課題①

- ・ 保育士確保のための支援が、隣都盛岡市と比べ劣っている。



滝沢市は、盛岡市と生活圏が一体。当然、待遇の良い就職先が近くにあれば、そちらに人材は流れてしまう。

「若者定住に向けた子育て環境（保育）について」

○浮き彫りとなった課題②

- ・ 市内に保育士資格を取得できる大学（盛岡大学、岩手県立大学）を有しているにもかかわらず、その優位性を活かせていない。



大学と市内の保育施設との連携が乏しく、保育士資格を取得した学生が大学卒業後に市外へ流失してしまう。

「若者定住に向けた子育て環境（保育）について」

○調査まとめ①

本市の保育に関する子育て環境は、待機児童が解消されない状況が続いている。その要因の一つである「保育士の確保」は、その改善と密接に関連している。また、このことは、本市の重要な政策の柱である「若者定住」につながる。

一方、保育士を目指す若者は、その職場環境に注目し、隣都盛岡市の保育施設の待遇がその就職先の選定に大きく影響している。

このことから、待機児童解消に向け、次の2項目が重点課題であると考える。

保育士確保のための支援

小規模保育事業所の開設

「若者定住に向けた子育て環境（保育）について」

○調査まとめ②

保育士確保のための支援

1. 保育士宿舎借り上げ支援事業の充実

保育事業者が保育士用のアパート等を借り上げる費用の一部を補助

2. 保育士奨学金返還支援

奨学金の返還を行っている若手保育士に対し返還費用の一部を補助

3. 若手保育士等処遇改善

国の処遇改善加算の対象ではない若手保育士等の処遇改善に取り組む保育事業者に対し処遇改善に係る費用の一部を補助

4. 就活生を対象とした園見学バスツアー

5. 園内事務のICT化

「若者定住に向けた子育て環境（保育）について」

○調査まとめ③

小規模保育事業所（※）の開設

本市の待機児童の多くが1歳児または2歳児である。また、将来的には保育児童が減少していくことが想定される。

待機児童対策は急務であるが、将来の人口減少期を見据え、出口戦略としても有効な小規模保育事業所による保育の受け皿確保を図る必要がある。

※ 小規模保育事業所：預かる子どもの対象は「0歳～2歳」の児童で、定員数は「6人～19人まで」の小規模な保育施設

所管事務調査報告

産業建設常任委員会

「若者定住のための生活基盤と 産業基盤の整備について」



報告書QRコード
(市議会HP)

「若者定住のための生活基盤と産業基盤の整備について」

令和2年：新型コロナウイルス感染症が
世界的パンデミック

オフィスワーク ⇒⇒⇒ リモートワーク
東京一極集中 ⇒⇒⇒ 地方分散社会

「若者の受け皿確保」



第1次滝沢市総合計画後期基本計画より

- 1 「空き家対策推進事業」
- 2 「公園維持管理事業」
- 3 「企業誘致事業」
- 4 「新規就農対策事業」
- 5 「都市計画総務事務」

事業分析により5事業を抽出

「若者定住のための生活基盤と産業基盤の整備について」

1 「空き家対策推進事業」

空き家：低廉な価格設定

→サテライトオフィス

→若者同士の集いの空間

結果：人口の流入

○市に求められる支援策

- ・地域ごとの利活用計画立案
- ・交流の場としての活用
- ・定住のための支援策
- ・企業への情報提供
- ・リフォームに係る補助金

「若者定住のための生活基盤と産業基盤の整備について」

2 「公園維持管理事業」

子育て世代のニーズ：安全・安心な環境
子供の成長に合わせた対応



サニータウン第2野沢公園
(遊具のある公園)



小岩井運動場
(ボール遊びのできる公園)

「若者定住のための生活基盤と産業基盤の整備について」

2 「公園維持管理事業」

市の責務：適正な維持管理
遊具の更新（耐用年数の確認）

子育て世代への対応
空き家の副次的要素

多様な公園の充実を!!

結 果：定住人口の増加

「若者定住のための生活基盤と産業基盤の整備について」

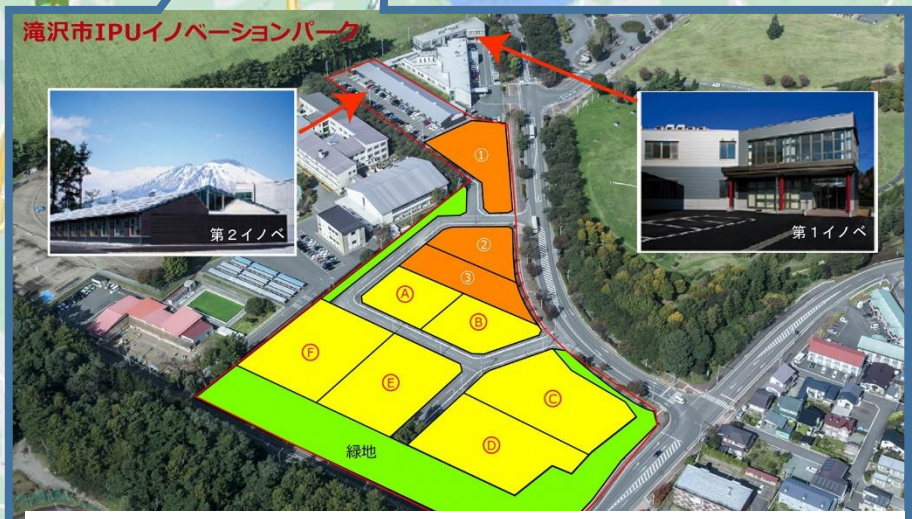
3 「企業誘致事業」



盛岡西リサーチパーク
(全区画売却済)



滝沢市役所



IPUイノベーションパーク
(ICT産業に特化)

「若者定住のための生活基盤と産業基盤の整備について」

3 「企業誘致事業」



岩手県立大学：約2,600名



盛岡大学：約1,800名

若者にとって魅力のある企業

- 商業系企業
- 工業系企業

結 果：生産年齢人口の流入

4 「新規就農対策事業」

新規就農者…「農業技術」「経営ノウハウ」が不足
大規模な自立営農は困難

○市に求められる支援策

- 小さな農家（兼業）への支援
- 農地利用の充実
- 新規就農者以外の団体支援
- 農業に触れる政策の展開 など
→ 魅力ある農業形態の模索

4 「新規就農対策事業」

併せて、既存農家の後継者育成



スイカ



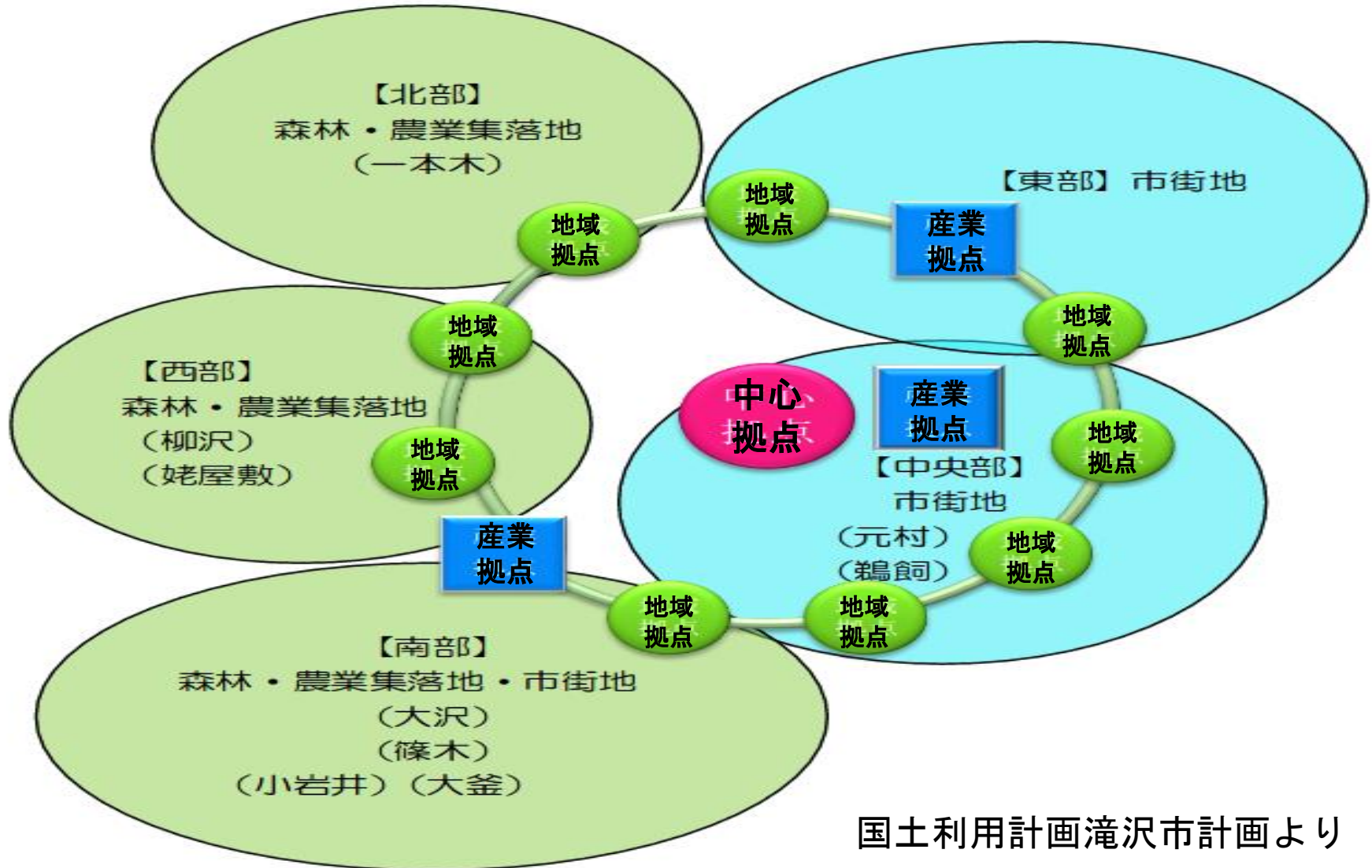
米



サツマイモ

結 果：農業振興＋若者定住

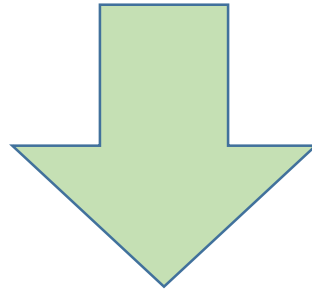
5 「都市計画総務事務」



5 「都市計画総務事務」

【市の都市構想】

- ・ 市役所を中心とした中心市街地化
- ・ 滝沢中央S I C周辺への企業誘致
- ・ I P Uイノベーションパークの充実



進展せず

5 「都市計画総務事務」

第1次滝沢市
総合計画

国土利用計画
滝沢市計画

＜上位計画＞

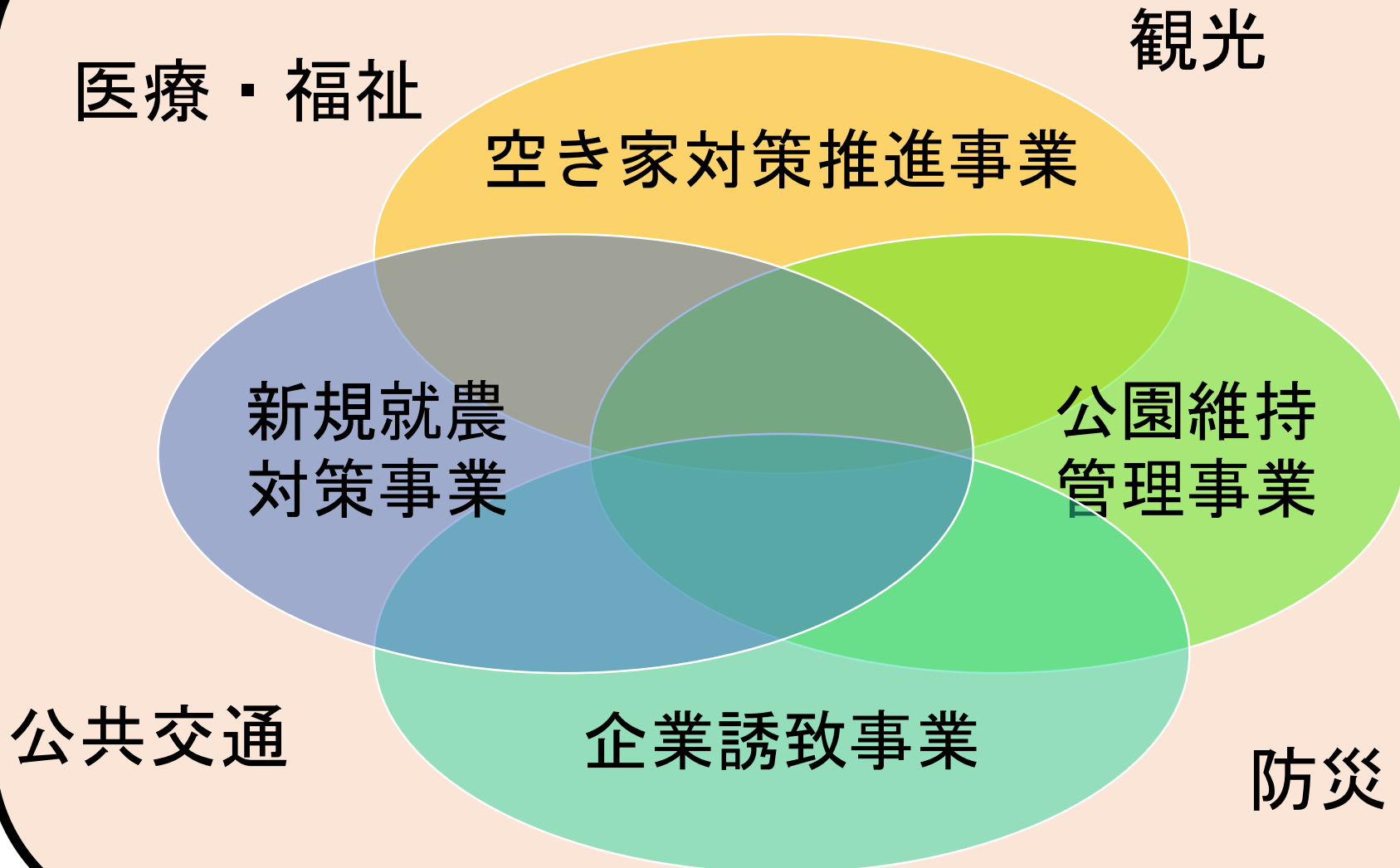
目標年次：令和4年

滝沢市都市計画マスタープラン

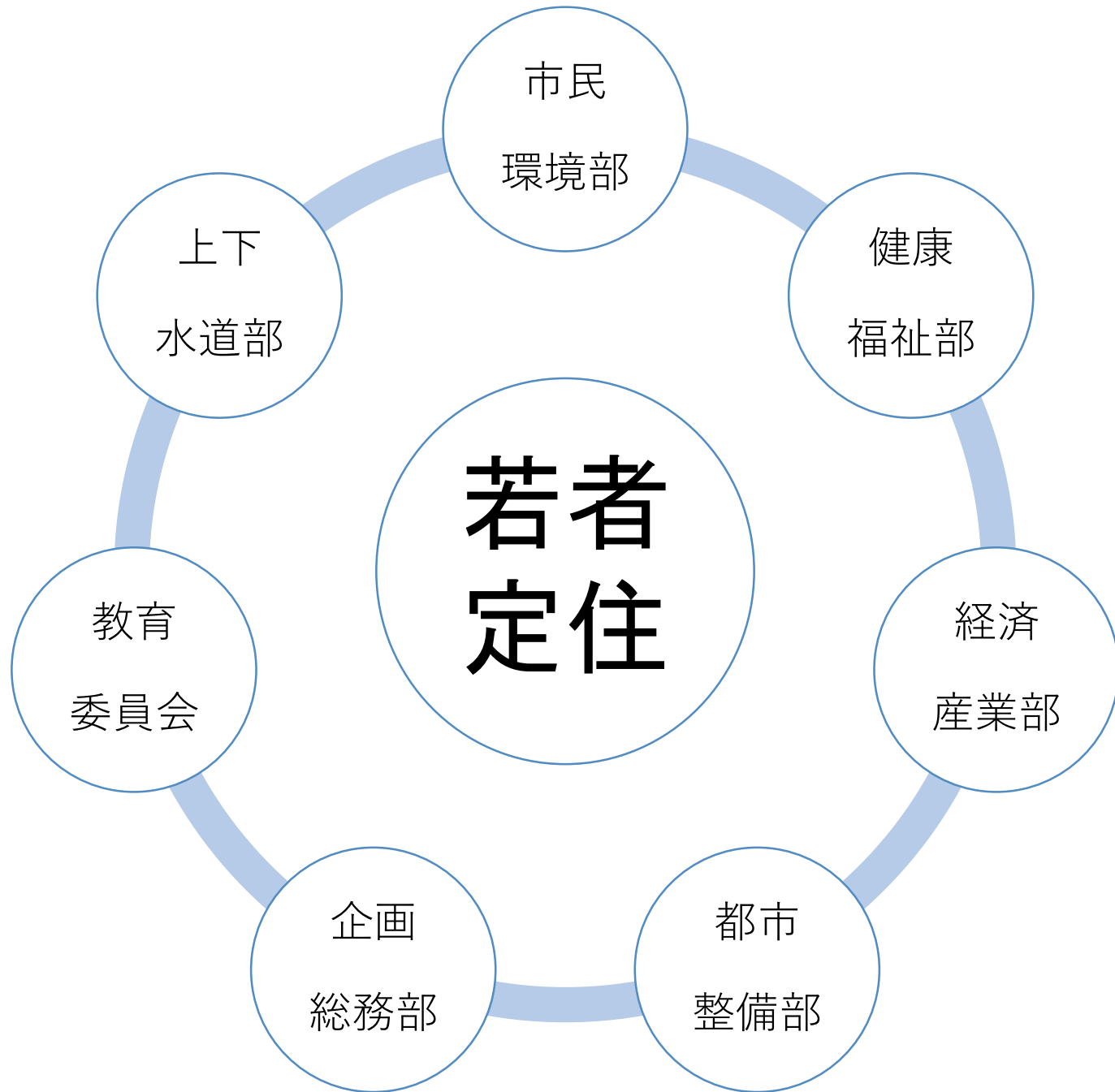
目標年次：令和15年

「若者定住のための生活基盤と産業基盤の整備について」

都市計画総務事務



「若者定住のための生活基盤と産業基盤の整備について」



滝沢市議会

<https://www.city.takizawa.iwate.jp/shigikai>

岩手県滝沢市中鶺飼55（市役所4階）

※「QRコード」は株式会社デンソーウェーブの商標登録です。